

三里塚・ジェット闘争貫徹！「国鉄35万人体制」粉碎！

東京労動

乗務員運用合理化の裏切り妥結弾劾！

現場組合員の不満おさえ一休み、10/1より
東京三局で「暫定父番」に乗務させる

日刊
動労千葉

80.10.11

No. 554

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
(鉄電)二二五八九九・(公衆)〇三三七二〇七

国鉄当局は、三五万人体制の最大の柱である乗務員運用合理化十一月一日実施の策動を強めている。
すでに「日刊五五一号」で明らかのように動労「本部」反動分子が東京三局において乗務員運用合理化の十一月一日実施について「55・10ダイ改」交渉の中ですでに裏切り妥結し、全面屈服したことをしてにして、全首都圏・大阪環状線でのゴリ押しを突破口に、さらには全国的に拡大させていこうと全力を傾注はじめた。
われわれは、全組合員の総決起をもって国鉄当局の乗務員運用合理化攻撃に対決しなければならない。

乗務員運用合理化は、
動労千葉への組織破壊攻撃

乗務員運用合理化を中心とする国鉄三五万人体制攻撃は、われわれがこの間くりかえし指摘してきたように、乗務労働を三割から四割も労働強化することを狙うと同時に戦争と侵略体制に見合つた国鉄輸送体制を築くため戦闘的国鉄労働運動の破壊をねらつた恐るべき攻撃である。

このことは、現に「本部」反動分子が東京三局において全面的に屈服し妥結した内容からも明らかである。

すなわち、乗務員の労働条件の大巾な切り下げ（10年前に引き下げる）と同時に乗務旅費の線区別・乗り入れ先き別の格差の導入などをもって乗務員間の分断・対立を持ち込み、動労の組織的動搖と混乱を一層増長させるものとなることは確実である。

さらに、わが動労千葉にとって乗務員運用合理化は、81年3月ジェット燃料輸送延長問題を展望した国鉄当局の闘う労働組合破壊の攻撃である。

また、われわれがこの間反合・運転保安闘争の全支部的なとりくみによって獲得してきた全国有数の労働条件を引き下げ、そして、こうした闘いの中で乗り上ってきたわが動労千葉の組織力・戦闘力を破壊しようとする攻撃である。

しかも、許せないことには、「本部」反動分子がこうした国鉄当局の攻撃に率先して協力・屈服し、すでに「55・10ダイ改」交渉の中で乗務員運用合理化について妥結していたことである。

国鉄当局は、東京国電を中心とする東京三局における十一月一日実施の既成事実をもつて、動労千葉にゴリ押しし、動労千葉の組織破壊をなしつけようとしているのである。

第三位	準優勝	優勝	
鶴岡（千葉転）	佐久間英（千葉転）	田島文博（津田沼）	Aクラス
（幕張）	（千葉転）	小沢天任（津田沼）	Bクラス

第2回テニス大会、64名が参加
優勝 Aクラス 小島・石井組（津田沼）
Bクラス 小島・後藤組（千葉転）
白子町・カネイ荘テニスコートにおいて各支部から64名が参加し、盛大に開催されました。
大会は、前日の合同練習・交流会に引き続い
て行なわれ、成績は次のとおりです。

10月7日、サークル協第2回テニス大会は、打ち固め、81年3月ジェット輸送延長阻止の闘いにむけ奮闘しよう。
そして、このわが動労千葉の総決起と10・19に10・21闘争を闘う労働者・人民との連帯をさらに打ち固め、81年3月ジェット輸送延長阻止の闘いにむけ奮闘しよう。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！